

東京混声合唱団よりマスクについてのお知らせ

東京混声合唱団では2020年5月16日（土）に予定していましたが「コン・コン・コンサート2020」を7月31日（金）に延期開催させて頂く事に致しました。

そしてこのコンサートでは予めより弊団 Twitter を通じてお伝えしていますように「歌えるマスク」を着用して開催させて頂く予定にしています。

弊団では当該のマスクにつきまして、「聴こえ方」については音響学の立場から早稲田大学の山崎芳男名誉教授のチームに取得データの分析をお願いし「マスク着脱による聴こえ方の差はごく僅か」（分析結果は弊団ホームページに掲載）との分析結果を頂きました。合わせて6月23日には音楽に造詣の深い感染症専門医の先生お二人にお越し頂き「新型コロナウイルス感染症に対する知識を深める講座」を持たせて頂きました。

今後はクラシック音楽公演運営推進協議会（構成団体：日本クラシック音楽事業協会/日本オーケストラ連盟/日本演奏連盟）と一般社団法人日本管打・吹奏楽学会が主催する「コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」に参加し、新日本空調株式会社のクリーンルーム（長野県茅野市）での「飛沫調査」に歌う団体として、新国立劇場合唱団と共に参加致します。

7月31日の「コン・コン・コンサート2020」までに上記「飛沫調査」の結果を得ることは出来ませんが、今月（7月）に入り、これまでに行われています各オーケストラのコンサート開催に向けた取組を参考にさせて頂き、「プロの歌う団体」としての矜持、そして新型コロナ感染症に対する真摯な価値観に基づいて「コン・コン・コンサート2020」を「歌うマスク」着用で開催させて頂きます。

弊団が使用するマスクは、現下のコロナ禍における合唱活動の免罪符になるものには有りませんが、皆様の良識と共にお使い頂けるのであれば、お求めにお応えしたいと思っています。